

# 2019 年度報告 横浜市青少年育成センター

## 1 施設の管理運営

青少年育成活動に取り組む指導者・育成者や青少年育成団体等の拠点施設として、活動の打ち合わせや新規企画や新たな取り組みが円滑に遂行できるように、利用団体の特性や要望に応じて柔軟な貸出対応を行うとともに、“ユースライブラリー”や“交流スペース”を活用して青少年情報の提供や活動相談を積極的に展開しました。結果、少しずつではありますが利用者数や稼働率も回復傾向にありました。しかし、新型コロナウイルスの影響により、研修講座の中止や臨時休館をしたため4月以降のキャンセルも相次ぎ利用者離れがみられます。そのため、運営再開後の利用促進に向け、第一研修室のプロジェクト新設や各室のインターネット環境の整備など利便性の向上を図りました。また、研修講座を開催する代わりに、“青少年通信”を発行し、青少年育成活動や青少年課題などの情報を発信することで、青少年育成への関心を継続してもらえよう努めました。

### 【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用団体	利用人数	印刷室利用	相談件数	稼働率
2016	338 日	5,033 件	59,449 人	730 件	51 件	74.3%
2017	325 日	3,408 件	44,258 人	410 件	40 件	62.1%
2018	325 日	2,834 件	37,918 人	396 件	71 件	55.4%
2019	311 日	4,105 件	50,857 人	548 件	93 件	66.1%

※2017年12月～2018年9月まで関内ホール工事のため、仮施設で運営しました。

※2020年3月は新型コロナウイルスの影響で臨時休館となっています。

## 2 施設の主な事業

### (1) 青少年を支える人材の育成（講座・研修、ネットワーク形成の実施）

講座・研修では、青少年理解の基礎講座としてニーズの高い「発達障害の理解」は、特別支援学校の教諭を講師に招き、学校というこれまでと違う視点を参加者に届けることができました。また、新たに社会的関心の高い「LGBT理解」の講座にも取り組みました。青少年に寄り添う人材育成連続講座では、「青少年の性虐待」や「多文化共生」といった新しいテーマを設定したほか、連続参加者に「講座終了証」を発行するなど、受講者の参加意欲向上策にも取り組みました。（※連続講座は中止）

ネットワーク形成を目的に毎年開催していた「子ども・若者に関わる関係者の大交流会」は、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、5月～11月に青少年育成関係者の交流勉強会として「ブックラウンジ（新規）」を開催し、市内で青少年活動に関わる方が定期的に集まり、青少年に関する書籍を通して意見交換、情報交換を行いながら参加者の繋がりを深めることができました。

### (2) 青少年育成活動等に関する情報の収集・提供（相談・情報提供など）

高校生・大学生世代の利用促進を図るために Twitter を活用した施設情報を始めました。また、ホームページのほかに気軽に青少年情報を届けられるよう育成センター専用の Facebook も開設しました。また、ネット環境が整っていない方にも情報が届くよう情報紙「青少年通信」も発行しました。

相談に関しては、青少年支援団体や行政窓口からの相談が増えてきています。その為、幅広い対応や情報が求められるようになってきているので、日頃から連携している「よこはまチャイルドライン」や「神奈川こども支援センター」などの団体との連携強化に努めました。

会議室・スタジオ利用状況

月	開館 日数	減免 件数	コマ数 (a)	利用団体数(b)				稼働率(b/a)					利用人数				
				計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
累計	311	364	6,212	4,105	406	1,346	2,172	181	66.1%	6.5%	21.7%	35.0%	2.9%	50,857	9,198	20,431	21,223
4	28	7	556	386	49	126	209	2	69.4%	8.8%	22.7%	37.6%	0.4%	4,775	812	2,365	1,598
5	30	22	580	362	24	115	217	6	62.4%	4.1%	19.8%	37.4%	1.0%	4,626	685	2,346	1,595
6	29	21	588	370	20	131	207	12	62.9%	3.4%	22.3%	35.2%	2.0%	4,313	1,003	1,791	1,519
7	29	43	588	403	21	147	229	6	68.5%	3.6%	25.0%	38.9%	1.0%	5,411	611	2,706	2,094
8	28	90	566	374	40	90	178	66	66.1%	7.1%	15.9%	31.4%	11.7%	5,746	2,290	1,713	1,743
9	28	31	546	370	54	110	194	12	67.8%	9.9%	20.1%	35.5%	2.2%	4,274	434	1,958	1,882
10	30	39	600	400	47	134	208	11	66.7%	7.8%	22.3%	34.7%	1.8%	5,214	825	2,070	2,319
11	29	39	578	360	26	113	207	14	62.3%	4.5%	19.6%	35.8%	2.4%	3,894	405	649	2,840
12	27	29	554	339	34	97	187	21	61.2%	6.1%	17.5%	33.8%	3.8%	3,631	568	1,223	1,840
1	27	19	544	339	32	111	181	15	62.3%	5.9%	20.4%	33.3%	2.8%	3,903	805	1,200	1,898
2	26	24	512	402	59	172	155	16	78.5%	11.5%	33.6%	30.3%	3.1%	5,070	760	2,410	1,900
3																	

内訳

	月	コマ数 (a)	利用団体数(b)				稼働率(b/a)					利用人数				
			計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
研修室1累計		1,118	745	48	441	175	81	66.6%	4.3%	39.4%	15.7%	7.2%	25,384	4,469	12,285	8,630
	4	100	66	5	44	15	2	66.0%	5.0%	44.0%	15.0%	2.0%	2,470	421	1,458	591
	5	104	69	3	47	14	5	66.3%	2.9%	45.2%	13.5%	4.8%	2,742	414	1,648	680
	6	106	64	0	44	13	7	60.4%	0.0%	41.5%	12.3%	6.6%	1,980	468	1,030	482
	7	106	79	0	54	22	3	74.5%	0.0%	50.9%	20.8%	2.8%	2,775	296	1,600	879
	8	102	65	8	34	8	15	63.7%	7.8%	33.3%	7.8%	14.7%	2,653	1,157	1,027	469
	9	98	69	5	34	24	6	70.4%	5.1%	34.7%	24.5%	6.1%	2,154	157	1,120	877
	10	108	75	3	39	27	6	69.4%	2.8%	36.1%	25.0%	5.6%	2,703	417	1,070	1,216
	11	104	73	3	39	21	10	70.2%	2.9%	37.5%	20.2%	9.6%	1,929	138	377	1,414
	12	100	56	4	32	10	10	56.0%	4.0%	32.0%	10.0%	10.0%	1,705	331	739	635
	1	98	61	4	37	12	8	62.2%	4.1%	37.8%	12.2%	8.2%	1,858	326	742	790
	2	92	68	13	37	9	9	73.9%	14.1%	40.2%	9.8%	9.8%	2,415	344	1,474	597
	3															
研修室2累計		1,118	733	37	334	324	38	65.6%	3.3%	29.9%	29.0%	3.4%	9,595	1,408	4,722	3,465
	4	100	70	6	29	35	0	70.0%	6.0%	29.0%	35.0%	0.0%	942	131	487	324
	5	104	61	2	29	29	1	58.7%	1.9%	27.9%	27.9%	1.0%	720	66	464	190
	6	106	65	0	34	28	3	61.3%	0.0%	32.1%	26.4%	2.8%	914	202	396	316
	7	106	71	1	35	35	0	67.0%	0.9%	33.0%	33.0%	0.0%	962	68	549	345
	8	102	69	5	23	28	13	67.6%	4.9%	22.5%	27.5%	12.7%	1,131	369	410	352
	9	98	62	6	27	23	6	63.3%	6.1%	27.6%	23.5%	6.1%	784	41	457	286
	10	108	72	2	36	32	2	66.7%	1.9%	33.3%	29.6%	1.9%	1,007	160	480	367
	11	104	60	1	21	35	3	57.7%	1.0%	20.2%	33.7%	2.9%	717	33	179	505
	12	100	62	0	25	32	5	62.0%	0.0%	25.0%	32.0%	5.0%	665	10	313	342
	1	98	64	4	29	29	2	65.3%	4.1%	29.6%	29.6%	2.0%	780	205	347	228
	2	92	77	10	46	18	3	83.7%	10.9%	50.0%	19.6%	3.3%	973	123	640	210
	3															
ミーティングルーム累計		1,118	659	11	258	370	20	58.9%	1.0%	23.1%	33.1%	1.8%	5,086	384	1,942	2,760
	4	100	63	4	29	30	0	63.0%	4.0%	29.0%	30.0%	0.0%	442	33	227	182
	5	104	55	1	19	35	0	52.9%	1.0%	18.3%	33.7%	0.0%	368	28	103	237
	6	106	58	0	24	34	0	54.7%	0.0%	22.6%	32.1%	0.0%	407	13	169	225
	7	106	66	0	29	36	1	62.3%	0.0%	27.4%	34.0%	0.9%	639	10	311	318
	8	102	54	0	17	24	13	52.9%	0.0%	16.7%	23.5%	12.7%	658	224	137	297
	9	98	61	0	24	37	0	62.2%	0.0%	24.5%	37.8%	0.0%	419	12	166	241
	10	108	63	2	26	35	0	58.3%	1.9%	24.1%	32.4%	0.0%	556	7	296	253
	11	104	58	1	24	33	0	55.8%	1.0%	23.1%	31.7%	0.0%	359	18	45	296
	12	100	53	2	15	36	0	53.0%	2.0%	15.0%	36.0%	0.0%	358	11	123	224
	1	98	57	1	18	35	3	58.2%	1.0%	18.4%	35.7%	3.1%	371	28	111	232
	2	92	71	0	33	35	3	77.2%	0.0%	35.9%	38.0%	3.3%	509	0	254	255
	3															
和室累計		1,118	514	44	294	144	32	46.0%	3.9%	26.3%	12.9%	2.9%	5,411	1,900	1,420	2,091
	4	100	47	4	24	19	0	47.0%	4.0%	24.0%	19.0%	0.0%	436	111	193	132
	5	104	37	5	18	14	0	35.6%	4.8%	17.3%	13.5%	0.0%	291	118	113	60
	6	106	44	1	29	12	2	41.5%	0.9%	27.4%	11.3%	1.9%	521	247	196	78
	7	106	48	5	29	12	2	45.3%	4.7%	27.4%	11.3%	1.9%	512	175	246	91
	8	102	46	2	16	13	15	45.1%	2.0%	15.7%	12.7%	14.7%	778	390	139	249
	9	98	52	11	23	18	0	53.1%	11.2%	23.5%	18.4%	0.0%	438	109	213	116
	10	108	51	4	33	11	3	47.2%	3.7%	30.6%	10.2%	2.8%	495	135	224	136
	11	104	47	2	29	15	1	45.2%	1.9%	27.9%	14.4%	1.0%	397	125	48	224
	12	100	46	2	25	13	6	46.0%	2.0%	25.0%	13.0%	6.0%	429	125	48	256
	1	98	35	0	27	6	2	35.7%	0.0%	27.6%	6.1%	2.0%	488	169	0	319
	2	92	61	8	41	11	1	66.3%	8.7%	44.6%	12.0%	1.1%	626	196	0	430
	3															
スタジオ累計		1,740	1,454	266	19	1,159	10	83.6%	15.3%	1.1%	66.6%	0.6%	5,381	1,037	62	4,282
	4	156	140	30	0	110	0	89.7%	19.2%	0.0%	70.5%	0.0%	485	116	0	369
	5	164	140	13	2	125	0	85.4%	7.9%	1.2%	76.2%	0.0%	505	59	18	428
	6	164	139	19	0	120	0	84.8%	11.6%	0.0%	73.2%	0.0%	491	73	0	418
	7	164	139	15	0	124	0	84.8%	9.1%	0.0%	75.6%	0.0%	523	62	0	461
	8	158	140	25	0	105	10	88.6%	15.8%	0.0%	66.5%	6.3%	526	150	0	376
	9	154	126	32	2	92	0	81.8%	20.8%	1.3%	59.7%	0.0%	479	115	2	362
	10	168	139	36	0	103	0	82.7%	21.4%	0.0%	61.3%	0.0%	453	106	0	347
	11	162	122	19	0	103	0	75.3%	11.7%	0.0%	63.6%	0.0%	492	91	0	401
	12	154	122	26	0	96	0	79.2%	16.9%	0.0%	62.3%	0.0%	474	91	0	383
	1	152	122	23	0	99	0	80.3%	15.1%	0.0%	65.1%	0.0%	406	77	0	329
	2	144	125	28	15	82	0	86.8%	19.4%	10.4%	56.9%	0.0%	547	97	42	408
	3															

## 《目標設定時公表項目》 2019年度 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、施設の貸出や青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率 70% (前年度年間目標：70%) ②相談・情報提供業務 年間 100 件 (前年度年間目標：100 件)
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を育成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①青少年育成に関する講座・研修等への参加者数 延べ 600 人以上。(前年度年間目標：600 人以上) ②青少年育成に取り組む他団体と連携して、青少年育成者や、団体のネットワークを推進します。 連携事業：年 4 事業以上
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①職員の外部研修への参加 年 6 回以上。 育成センタースタッフの内部研修の実施 年 1 回 ②避難誘導訓練 年 2 回、 AED 講習会 年 1 回
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 200 万円 (前年度年間目標：143 万円) ②事業収入 120 万円 (前年度年間目標：123 万円)

## 《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組 (改善計画)
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率：70% ②相談・情報提供業務年間：100 件	①66.1% ②93 件	①3.9% ②7 件	①和室の利用促進に努めます。 ②SNS やオンラインでの相談対応も検討します。
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を育成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①講座・研修等の参加者数延べ 600 人以上。 ②他団体との連携事業：4 事業以上	①542 人 ②6 団体	①58 人 ②2 団体	①他団体や組織と連携を図り、多様なテーマの研修・講座が届けられるように努めます。 ②研修会や交流会等を通して多様な団体同士の繋がりを作っていきます。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①外部研修へ参加 年 6 回以上 ②避難誘導訓練 2 回 AED 講習会 1 回	①17 回 ②避難 2 回 AED 1 回	①11 回 ②なし	①今後も外部研修に積極的に参加し、外部情報の収集及び職員の資質向上に努めます。 ②引き続き、利用者の安全確保に努めます。
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 200 万円 ②事業収入 120 万円	①1,776 千円 ②635 千円	①224 千円 ②565 千円	①各貸室の多目的利用化を促進し利用促進に努めます。 ②研修・講座参加料金の見直しや、プリントルームの一部有料化などを検討します。

A 青少年活動を支援する事業      あ 施設貸与

事業名	実施日	件数	利用人数	備考
<b>1 利用者案内、利用相談、受付</b> ●会議室、スタジオ等の貸出 ・貸し出し、利用相談 ・育成団体登録時の相談実施	4～3月	4,105件	50,857人	・件数内訳) 青少年 406件 育成団体 1,346件 一般 2,172件 法人利用 181件  ・登録件数内訳) 392件 青少年 67件 育成団体 83件 一般 242件
●HPによる情報提供	随時	・抽選予約状況(3か月前、毎月) ・スタジオ空室状況(2か月分・週1回更新および随時)		
<b>2 施設での活動支援、安全・衛生環境管理</b> ●非常用物品の確認・点検 ・各室非常灯の点検、救急箱の点検 ・部屋貸し出し時の避難経路案内	毎月 随時	—	—	・地震および火災時の対応 非常灯表示 ・HPによる案内(帰宅困難者一時 滞在施設) ・備蓄品の購入と保管(水、軽食)
●避難訓練の実施	①10/18 ②3/27	年2回	—	・避難訓練の実施
●スタッフ救急研修	3/27	年1回	—	・AED講習会
●修繕等の実施 ・第一研修室 壁面一部補修工事 ・第一研修室 前面ミラー可動修理 ・ミーティングルーム壁紙補修	①10/29 ②10/1 ③3/15	年2回	—	・壁面の割れの補修 ・稼働扉の故障箇所修理 ・壁紙の張替え
<b>3 利用者サービス向上のための取り組み</b> ●活動支援室(プリントルーム)事業	4～3月	548件	—	印刷機/コピー/ラミネート 製本作業等の活動支援事業
●館外貸出物品事業(着ぐるみ)	4～3月	62件	—	・地域活動や学校行事での利用
●利用サービスの向上 交流スペース、ワークルームの設置	通年	—	—	・交流スペースの開設 ・ワークルームの開設 ・貸出物品の整理・追加
●利用者アンケートの実施	3月	119件	—	・利用状況や利用者サービス等を 調査
<b>4 その他</b> 新型コロナウイルスの影響による 臨時休館	臨時休館 3/1～3/31	—	—	休館に伴う利用者への連絡対応 事業参加者への連絡

## A 青少年活動を支援する事業 え 相談・助言

事業名	実施日	件数	備考
<b>青少年育成に関する相談・情報の収集と提供</b> ●相談・コーディネート	4～3月	93件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口、電話、Eメール、</li> <li>・研修講座終了後の相談対応</li> <li>・HP、広報紙等での発信対応</li> <li>・交流スペース利用時の相談対応</li> </ul>
●ユースライブラリーの運営 HP等による情報提供	随時	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年に関する書籍の収集・配架・貸出</li> <li>・青少年指導者向けの研修・講座情報の提供</li> <li>・青少年統計データ、ボランティア情報提供</li> <li>・分野ごとの情報ファイリング（閲覧用）</li> <li>・青少年指導者向けの研修・講座情報の提供</li> <li>・Facebook等のSNSでの情報発信</li> <li>・青少年通信の発行 3,000部 600カ所配布</li> </ul>
●相談・助言の対応の向上 （スタッフスキルアップ研修等）	①毎月 ②2/5 ③随時	—	①月例会議でのケースカンファレンス（毎月） ②LGBTの理解研修（人権） ③外部研修への職員の参加（17件） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己尊重トレーニング</li> <li>・チラシデザイン研修</li> <li>・多文化共生シンポジウム</li> <li>・子どもの貧困フォーラム ほか</li> </ul>

## A 青少年活動を支援する事業 お 調査、資料収集

●専門委員会による事業の検証	①2月 ②3月	中止	新型コロナウイルスの影響で未開催に終わったが、委員候補者から、研修内容や施設の多様な使い方などの意見を聞くことができました。外部の視点から得た利用者ニーズや今後求められる取り組みについて意見を次年度の事業計画に反映しています。
----------------	------------	----	---

## B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成

日常の関わりの中で包括的に青少年を支え、青少年や地域が抱える課題に対して、青少年自身または地域の支援者に寄り添い、共に考え伴走していけるような人材の広がりを目指し、企画・実施しています。

講座・研修は、青少年理解の基礎的な内容から、経験者・実践者が学びを積み上げていく連続講座、活動現場の実践で活かせるスキルアップ講座、青少年に関わる方々が出会い学び合う交流会やフォーラムなど、参加者それぞれの立場やレベルに合わせた研修体系となっています。

事業名 <>は事業の柱名	実施日	参加人数	備考
<b>&lt;子ども青少年の理解につながる研修講座&gt;</b> <b>「イマドキの子ども理解と支援」</b> ・講師：よこはまユース 守田 洋 ・参加費：500円	5/29	43人	昨年に引き続き、青少年と関わる初任者向けの入門講座として実施しました。時代の移り変わりや青少年を取り巻く環境や課題の変化という講義内容をもとに、青少年との向き合い方についてグループワークを通して考えを共有しました。
<b>&lt;子ども青少年の理解につながる研修講座&gt;</b> <b>「発達障がいの子どもの理解と支援」</b> ・講師：若葉台特別支援学校 中村一樹氏 ・参加費：500円	7/11	55人	発達障がいの特徴を持つ子ども・青少年に寄り添い、支えるために、発達障がいの捉え方・特徴・支援のコツを学ぶ講座を実施しました。講師には特別支援学校の現任教員を招き、現場対応のノウハウと専門知識に基づく実践事例の解説、講義を基にしたグループワークを行いました。
<b>&lt;子ども青少年の理解につながる研修講座&gt;</b> <b>「LGBTの理解」</b> ・講師：NPO法人SHIP 星野慎二氏 ・参加費：500円	11/6	17人	講師の深い知識や当事者としての視点、多様な支援経験に基づく講義に、「当事者（マイノリティ）」「それ以外（マジョリティ）」の線引きを取り払い、世界的に広がりを見せる『SOGI（ソジ、ソギー）』と呼ばれる新たな考え方（価値観）を育むことの大切さを学びました。

<p><b>&lt;困難を抱える青少年に寄り添う 人材育成コース（連続講座）&gt;</b></p> <p>①電話相談から見える子供の悩みや困りごと 講師：よこはまチャイルドライン 徳丸のり子氏</p> <p>②SSWから見た青少年の課題 講師：横浜市教育委員会 佐藤健浩氏</p> <p>③生きづらさを抱えるこども・若者の現状 講師：南部ユースプラザ 渡辺克美氏</p> <p>④外国につながるこどもの課題とこれから 講師：横浜国際交流協会 木村博之氏</p> <p>⑤虐待等被害からのSOS（保護方法） 講師：NPO法人つなぐ 飛田 桂氏</p> <p>⑥虐待等被害からのSOS (子どもから話を聞くには) 講師：NPO法人つなぐ 飛田 桂氏</p> <p>・定員30人 ・参加費：全回4,000円 単回参加1,000円</p>	<p>①2/12</p> <p>②3/2</p> <p>③3/5</p> <p>④3/10</p> <p>⑤3/16</p> <p>⑥3/17</p>	<p>①17人</p> <p>②中止</p> <p>③中止</p> <p>④中止</p> <p>⑤中止</p> <p>⑥中止</p>	<p>実施できた1回目では、特定非営利活動法人よこはまチャイルドライン代表理事・徳丸のり子氏を招き、現代の青少年の課題や悩み事を、日頃の相談事例をもとに学びました。電話などの音声通話と、青少年に親和性の高い短文によるコミュニケーションの長所短所の比較や、傾向と分析による対応の工夫など、学びや気づきに富んだ研修となりました。</p> <p>第2回以降の中止が決まり、申込者に連絡したところ、多くの方から次年度の開催を要望する声が聞かれました。登壇予定だった「NPO法人つなぐ」は医療・法律の専門家として研修の共催などの今後の事業連携に取り組みます。また、今回は全回参加した方に「講座終了証」を発行し講座への参加意欲を高める工夫を行いました。</p>
<p><b>&lt;青少年と関わるためのスキルアップ研修&gt; 前期</b></p> <p>①ファシリテーションロールプレイ 講師：相模原市中学校教諭 柏木晴美氏</p> <p>②プロジェクト・アドベンチャーの手法 講師：NPO法人体験学習研究会 二宮 孝氏</p> <p>③自尊感情を育む関わり方 講師：CAPスペシャリスト 辻 弘枝氏</p> <p>・各回定員20人 参加費1,000円</p>	<p>①8/23</p> <p>②8/27</p> <p>③9/13</p>	<p>①3人</p> <p>②中止</p> <p>③18人</p> <p>計21人</p>	<p>青少年と関わるためのスキルアップ講座（前期）として、「コミュニケーション実践スキル」をテーマに講座を実施しました。1回目は現職の教員を講師に招き、学校現場での実践スキルをロールプレイで学びました。3回目は、子どもの自尊感情を育むポイントとして「安心」が確保され、子どもの人権を尊重する大切さを学びました。</p> <p>なお2回目は講師が急病となり中止となりましたが、応募も多くニーズの高さが伺えました。</p>
<p><b>&lt;青少年と関わるためのスキルアップ研修&gt; 後期</b></p> <p>①アサーティブコミュニケーション 講師：共育コーチング研究会 川本正秀氏</p> <p>②セルフケア（自尊感情トレーニング） 講師：臨床心理士 中本テリー氏</p> <p>③傾聴講座 講師：アモントコミュニティネットワーク 水谷裕子氏</p> <p>・各回定員20人 参加費1,000円</p>	<p>①12/13</p> <p>②1/16</p> <p>③1/31</p>	<p>①15人</p> <p>②6人</p> <p>③15人</p> <p>計36人</p>	<p>青少年と関わるためのスキルアップ講座（後期）は、支援者自身の「ブラッシュアップ」をテーマに開催しました。1回目の講座では、コミュニケーションタイプを3つに分け、自分はこの傾向にあるかなど自身のコミュニケーションスタイルについて学びました。2回目は、支援者自身の心のケアを目的に、受け止め方や受け流し方を中心に学びました。3回目は、日々の活動事例を基に自分の傾聴スタイルを見直し、よりよい関係性を築くポイントを学びました。</p>
<p><b>&lt;次世代人材の育成研修&gt; ユースチャレンジ「きずな町内会」</b></p> <p>①ボランティア研修会</p> <p>②運営準備、ボランティア活動体験</p> <p>※横浜市町内会連合会（横浜市市民局）共催</p>	<p>①8/2</p> <p>②8/16 8/17</p>	<p>①28人</p> <p>②24人 22人</p> <p>計74人</p>	<p>市民局と連携して、青少年に地域活動へ目を向けてもらうことを目的に、町内会活動の模擬イベントを実施しました。また、高校生や大学生にはボランティアとして活動を支援してもらい、地域活動を支える側を体験する機会を提供しました。</p>
<p><b>&lt;青少活動に役立つマネジメント研修&gt; (広報、資金等) 「これで不安解消、SNSを活用講座」</b></p> <p>①SNS広報の基本、人気SNSの分析</p> <p>②クラウドファンディングの基礎講座、SNS活用</p> <p>・講師：杉浦裕樹（コミュニティデザインラボ） ・参加費：1,000円</p>	<p>①3/19</p> <p>②3/26</p>	<p>①中止</p> <p>②中止</p>	<p><b>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止。</b></p> <p>昨年度に好評だったSNS広報講座に加えて、今年度はクラウドファンディングといった資金確保に関する内容も盛り込み、活動の継続や団体運営を直接的に支援する研修内容としました。</p>

<p><b>&lt;青少年が地域に繋がる場づくり講座&gt;</b>  <b>「子ども・若者の居場所に必要なこと」</b>  ①居場所の定義と整理  講師：横浜市立大学教授 高橋寛人氏  ②多文化な居場所から見えること  講師：横浜パライム会館 蔭山ゾル氏  ③学校と居場所（教員の視点）  講師：横浜総合高校教諭 堀谷沙貴氏  ④居場所づくりにいま必要なこと  講師：鎌倉風の学園長 柳下 換氏</p> <p>・定員：20人 参加費全4回2,000円</p>	①1/30 ②2/5 ③2/13 ④2/21	①21人 ②25人 ③22人 ④22人 計90人	居場所づくりの実践例や成功例を基に居場所づくりのノウハウやヒントを得る講座次のステップとして、実践者や研究者が集まり、「子ども若者の居場所」を“どうつくるか”“どうあるべきか”を参加者同士の対話を通して考える場として講座を企画しました。 初回の「居場所の定義と整理」から始まり、地域の自然発生的な居場所の事例、制度（学校）の中に作られた居場所の意味、そして、最終回では、居場所を哲学的または倫理的に一步踏み込んだ議論を参加者同士で交わす場を持ちました。 実践者や研究者などに、これまで実践や経験値を基に、さらに考えや知識を積み上げていくような学びの場を提供することができました。
<p><b>&lt;提供プログラムが充実する研修・講座&gt;</b>  <b>「遊びで育つ子どもの姿」</b>  ①プレイパークの遊び“実践例から学ぶ”  講師：YPCNプレイリーダー  ②外遊びの魅力と子どもの多様な学び  講師：自然体験教育研究会 山田陽治氏  （予定）</p> <p>・定員：20人 参加費：1,000円</p>	①3/15 ②3/28	①中止 ②中止	<p><b>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止。</b>  青少年育成活動者や支援者が日頃の活動プログラムを充実できるよう、遊びを通じた子どもの育ちを学ぶとともに、活動者や支援者自身が研修を通して魅力や学びを実体験することで、子どもたちにとって何が大切に気が付く機会を作ろうとフィールドワーク形式の内容を企画しました。</p>
<p><b>行政機関や青少年支援団体等と連携した  人材育成</b></p>	通年	6団体	青少年育成団体等との協働により、幅広い人材の養成を図りました。 ①NPO法人よこはまチャイルドライン 「子ども支援者養成講座2019」 ②横浜市母子寡婦福祉会「養育費セミナー」 ③日本作法会 横浜関内教室 「心を育てる講座 子ども作法」 ④横浜PTA新聞研究会「新聞づくり講習会」 ⑤横浜市教育委員会 人権教育・児童生徒課 「横浜プログラム指導者養成研修」 ⑥おもしろ科学たんけん工房 「理科推進スタッフ体験講座」
<p><b>&lt;青少年団体等のネットワーク形成事業&gt;</b>  <b>青少年育成関係者の交流勉強会（ユースゼミ）</b>  「BOOK ラウンジ平成時代の青少年を読み解く」  ①影響を受けたコミックを読み解く  ②評論「アンダークラス」  ③ルポルタージュ「難民高校生」  ④小説「僕は、そして僕たちはどう生きるか」  ⑤参加者各自の推薦本</p>	①8/1 ②8/29 ③9/26 ④10/24 ⑤11/29	①11人 ②7人 ③8人 ④8人 ⑤11人 計45人	今回のユースゼミは、「読書」という共通テーマで開催しました。青少年に関する書籍を通して価値観や考えを共有し、参加者同士のつながりを深める場を作ることができました。参加者同士がその後も育成センターに集まって小規模の勉強会を開く等ネットワーク形成のきっかけとなりました。
<p><b>&lt;青少年団体等のネットワーク形成事業&gt;</b>  <b>「第6回 横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」</b></p> <p>・参加費 500円（資料代）  *「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」を開く会との共催</p>	3/1	中止	<p><b>新型コロナウイルス 拡散・感染拡大に伴い中止。</b>  今年度は中止となりましたが、56人の応募者がおり関心の高さが伺えました。応募者の約7割が新規参加者でした。</p>
<p><b>&lt;青少年育成活動を充実するための&gt;</b>  <b>「青少年の居場所づくり全国フォーラム」</b>  ◆課題提起 講師：萩原建次郎  1日目：パネルディスカッション、分科会  2日目：フィールドワーク、分科会、全体会  ・参加費：無料  ※居場所づくりフォーラム実行委員会と連携</p>	2/22 2/23	83人 61人 計144人	全国から子ども青少年に関わる方々が集まり、各地方の取り組みを共有するとともに、課題提起や分科会を通して、日頃の実践をブラッシュアップする機会を提供しました。今回は「遊び・アート・共生」をテーマに分科会、フィールドワークが開催されました。フィールドワークは育成センターが担当し、黄金町・若葉町エリアで居場所づくりを行う活動場所を巡りました。

2019年度 育成センター施設管理業務報告 【4月～3月】

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床・等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回	4/8、5/13、6/10、7/8、8/6、9/10、10/7、11/11、12/9、1/14、2/4、3/9	関内H
フィルターの汚れ	点検・清掃	月1回	4/8、5/13、6/10、7/8、8/6、9/10、10/7、11/11、12/9、1/14、2/4、3/9	関内H	
電気設備	電気設備(受電、配電)	年次点検	年1回(9月)	12/29	関内H
	自家用発電設備	年次点検	年1回(9月)	9/10、	関内H
消防設備	消防設備	機器・総合点検	年2回(9月、3月)	9/10、3/23	関内H
中央監視装置	中央監視装置	本体・制御点検	年2回(7月、2月)	7/8、2/4	関内H
エレベーター設備	エレベーター設備	月例点検	月1回	4/8、5/13、6/10、7/8、8/6、9/10、10/7、11/11、12/9、1/14、2/4、3/9	関内H
	カーリフト	総点検	年1回(2月)	2/4	関内H
防火シャッター設備	防火シャッター設備	定期点検	年1回(2月)	2/4	関内H
自動ドア設備	自動ドア設備	定期点検	年4回(6,9,12,3月)	6/10、9/10、12/9、3/9	関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
環境衛生管理	室内空気環境測定		年6回(奇数月)	5/23、7/17、9/10、11/6、1/22、3/19	関内H
	給水飲料水水質検査		年2回(8月、2月)	8/6、2/20	関内H
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回(8月、2月)	8/5、2/3	関内H
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)	6/10、	関内H
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)	6/10、	関内H
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年2回(10月、2月)	10/7、2/4	関内H
	排水管清掃			特になし	関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗浄・ワックス塗布)	ワックス塗布	年5回	6/10、9/9、1/14	関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清	年1回	2/4	関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年6回(奇数月)	5/13、7/8、9/10、11/11、1/14、3/9	関内H

○保守管理業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H

# 2019年度

## 利用者アンケート集計結果

いつも横浜市青少年センターをご利用いただき、ありがとうございます。また、アンケート期間中は回答にご協力いただき誠にありがとうございました。

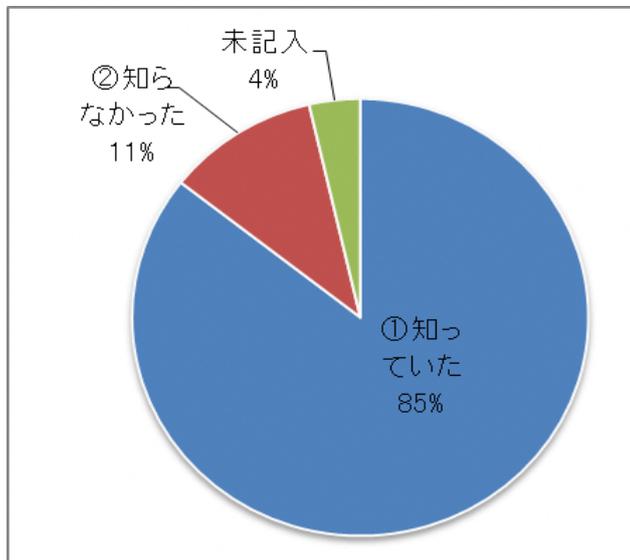
おかげさまで、111件の回答をいただくことができました、育成センターについてお寄せいただいたご意見を次のようにまとめました。

(アンケート期間：2020年3月1日～3月31日)

### 育成センターの機能について

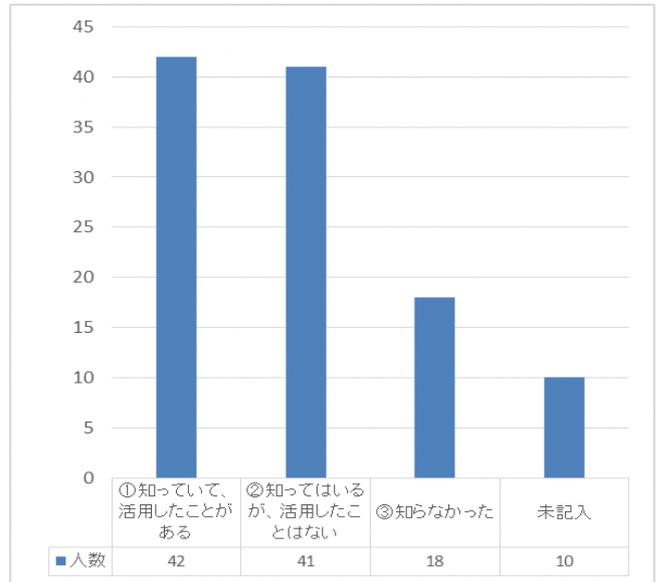
(1) 育成センターが青少年施設(主に指導者・育成者のための)であることを知っているか

①知っていた	95	86%
②知らなかった	12	11%
未記入	4	4%
計	111	100%



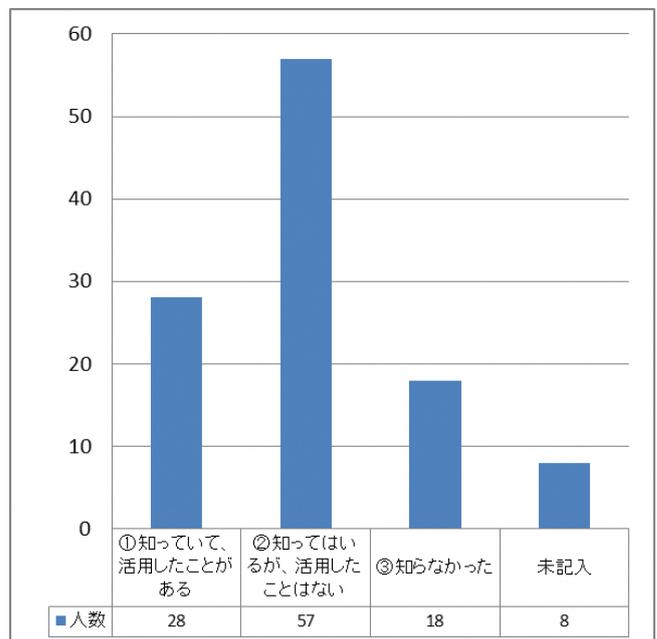
(2) 空き室情報や研修・講座の案内、青少年関連の情報発信を行っていることを知っているか

①知っていて、活用したことがある	42
②知ってはいるが、活用したことはない	41
③知らなかった	18
未記入	10
計	111



(3) 受付横の交流スペース(ユースライブラリー)の存在を知っているか

①知っていて、活用したことがある	28
②知ってはいるが、活用したことはない	57
③知らなかった	18
未記入	8
計	111



(4) 普段、情報収集等に活用しているメディアについて(複数回答可)

①新聞	57	19%
②テレビ	62	21%
③ラジオ	17	6%
④広報よこはま	28	9%
⑤地域情報誌 (タウンニュース等)	31	10%
⑥センターのHP	23	8%
⑦Facebook	21	7%
⑧Twitter	18	6%
⑨LINE	14	5%
⑩Instagram	10	3%
⑪その他	6	2%
未記入	10	3%
計	297	100%

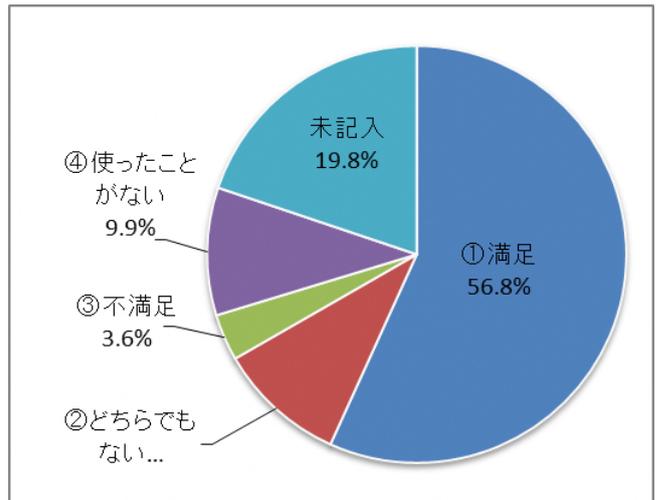
(5) 青少年に関する関心ごと(自由記述)

SNS 依存が気がかりです
いじめ、スマホ、親とのコミュニケーションの欠如
居場所、教育の格差
学習障害等を理解し、その子どもに対する理解を深め、会の活動に係わる子どもの関わり方を勉強したい
関心を失い目標に悩んでいる青少年に指針を示し導く為に日々努力している。
教育
心の持ち方に不安を感じます
子どもたちが自分で考えるということが少なくなっているように思います。
コミュニケーション教育
最近の将棋ブームでプロ棋士を目指す子が増えている件
ジュニアリーダーの育成・子どもの居場所づくり
スマートフォン中心の生活の子ども達がこれからどうなるのでしょうか
青少年の食育について
貧困 食事
ボーイスカウトの団体です
夢や希望を持つこどもが少なくなったような気がします。
横浜市 PTA の団体なので子育てや教育環境等あらゆることにアンテナを伸ばし情報収集をしている為青少年に関することは多岐にわたり関心がある
若い子を見ていると活力が湧いてくる

育成センターの設置機材や貸出機材について

(1) 設置機材や貸出機材の満足度

①満足	63	57%
②どちらでもない	11	10%
③不満足	4	4%
④使ったことがない	11	10%
未記入	22	20%
計	111	100%



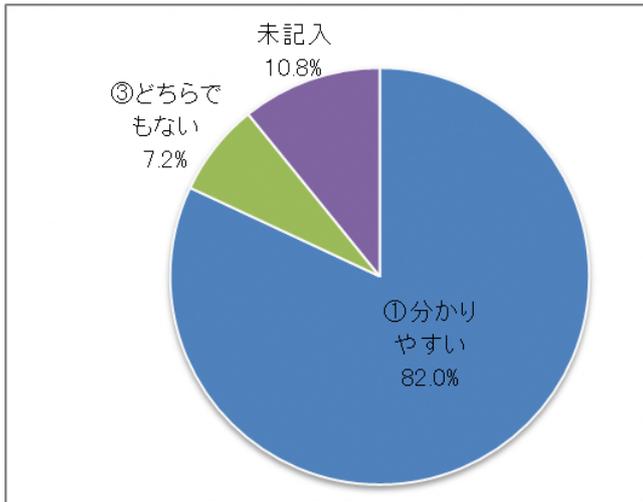
(2) 設置・貸出機材について意見や要望

音響スピーカーが使いやすくなり良くなった
銀色のCDデッキが使えない。研修室の壁一面が鏡でカーテン付だとさらに良い
十分に満足しております
全部屋で Wi-Fi が利用できるとありがたい
ピアノが電子ピアノに変わってしまった
ピアノをドラムセットの方へ近づけ欲しいと思います。(ピアノとテーブルを入れ替える)
プロジェクター等の使用方法の説明はありがたい。
ロッカーをお借りしているのですが、シンバルが入るくらい大きいスペースがあると有難い。直径 50 センチくらい。
印刷機を増やしてほしい
マーシャルのギターアンプ(オレンジ)が欲しい
イーゼルが欲しい
マイクスタンドが使いづらい
マイクの本数が不足、ミキサーが小さい
DVD やピンマイクなどを事前に準備していただけなかった(受付の方に伝わっていなかった)
PCにつながるプロジェクターがあると良い
MDが使えると助かります

## 登録や利用手続きについて

### (1) 登録手続きや利用手続きについて

①分かりやすい	91	82%
②分かりにくい	0	0%
③どちらでもない	8	7%
未記入	12	11%
計	111	100%



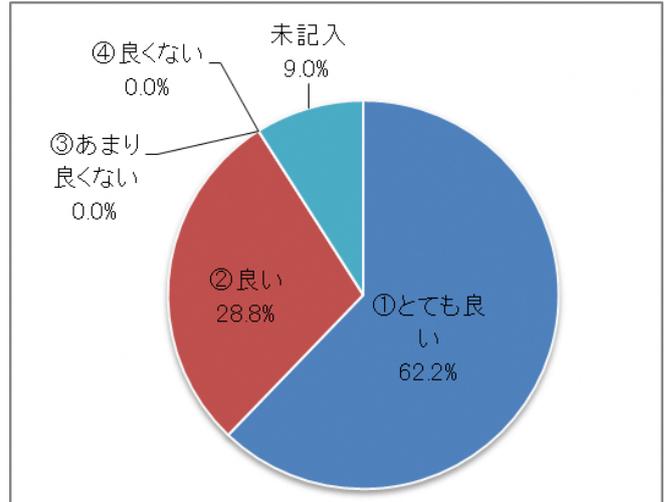
### 改善点や要望

更新時に教えて下さるのでありがたい
曜日で予約をしているので、3か月後の同日だと予約を忘れてしまうことがある
スタッフの説明が適確であり、分かりやすい
先着順ということで頑張っています
ネット予約ができるようになるとさらに楽かもです。
やむを得ないと思うが、手書き記入書類が多い。
今後も定期的にお借りたいと思っておりますが毎週9時半までに予約するのは大変です。1か月分でもまとめて予約できると良いと思います。



### (2) 受付窓口の職員対応(あいさつ、話し方、要望への対応)について

①とても良い	69	62%
②良い	32	29%
③あまり良くない	0	0%
④良くない	0	0%
未記入	10	9%
計	111	100%

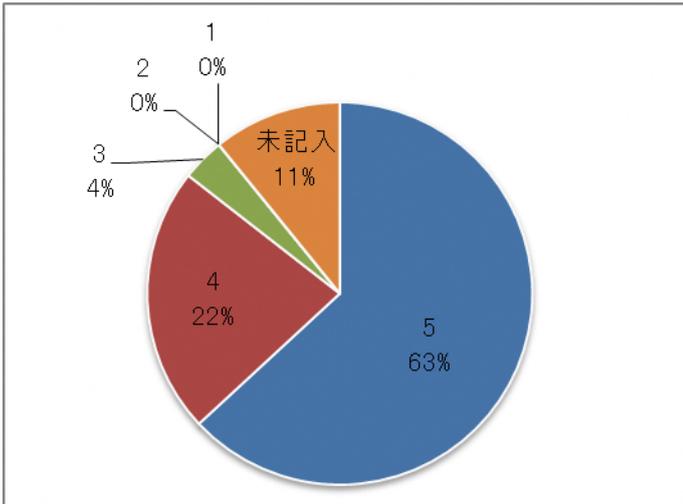


いつも笑顔で対応していただきありがとうございます！
いつも気持ちよく対応していただいています
いつもすぐ対応してくれる
いつも丁寧に対応して頂いており、ありがとうございます。
はきはきしている。毎日の今日は何の日が楽しみです。
皆さんいつも親切に対応して下さいます。
やはり、笑顔でいねいな言葉での対応が一番大切だと思います。こちらが話す前に今日は何ですか？と言っただけだとホッとします。
わかりやすく丁寧に説明していただきました。
センター長の指導が良いと思う。各職員の対応は3セクとは思えない位素晴らしい。
公共の施設なので妥当だと思いますが
親切丁寧
対応が丁寧で優しい
挨拶して丁寧にしてくれる
明るくてステキだと思います

# 総合評価

## 5点満点での評価

5	70	63%
4	25	23%
3	4	4%
2	0	0%
1	0	0%
未記入	12	11%
計	111	100%



## 意見や要望

いつも気持ちよく利用しています。ありがとうございます。

今のまま変わることなく、若い方も年齢を取っている方も、対応の良さは他の施設の模範となっている。

(他の施設を利用するときも宣伝している)

空調がもう少し良いと助かる。特に夏場。

交流スペースは現在、部屋利用の前後のみなので、登録者は空いていればいつでも使えるようにしてもらえたらうれしいです。

大変対応が良く、他と比べて大満足です。

とても便宜を図っていただいています

引き続き利用させていただき予定です。

非常に利便性が良く毎回使用している。感謝しています。

改善は難しいことですが、窓がなくて薄暗いのが気になります。

「利用者様は神様です」「お客様は神様です」「学校はサービス業です」のように時代が変わる中、利用者とのコミュニケーションは「笑顔と言葉がけ、言葉遣い」が基本なので。本日の受付の男性の方はとても素晴らしいと思います。

体系	項目	自己評価
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与  諸室および物品の貸出	<p>2017年－2018年の関内ホール改修工事に伴う一時移転により、一部利用者が離れてしまいましたが、2019年度はSNSを活用した広報や交流スペースでのイベント開催など積極的に展開し、新規の利用者が増えるなど少しずつ回復傾向にありました。しかし、2月中頃から新型コロナウイルスの影響で、相次ぐキャンセルや臨時休館のため66.1%の稼働率となり目標の70%を達成することはできませんでした。</p> <p>臨時休館中は、利用者の利便性や快適性を高めるために設備補修や新設、情報紙を活用した施設案内、Facebookの開設など、再開に向けた利用促進に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度：利用件数 2,834件／利用稼働率 55.4%</li> <li>・2019年度：利用件数 4,105件／利用稼働率 66.1%</li> </ul>
	え 相談・コーディネート  相談・コーディネート	<p>昨年度の相談件数71件から今年度は93件になりました。区役所の相談窓口や医療機関からの相談も増えており、育成センターの相談窓口としての認知度が高まっています。また主催する研修・講座の終了後に相談・質問時間を設けることで、参加者が抱える活動の悩みや地域課題などの情報を得ることができました。</p> <p>認知度が高まるにつれて相談内容も多岐に渡るようになっていきます。内容に応じて適切に対応するために、他団体や機関との連携強化に努めます。</p>
	相談・助言  情報提供（ユースライブラリーの運営ほか）	<p>各種の青少年統計データの館内掲示や青少年関連のニュースや新聞記事、青少年関連書籍の所蔵など常に情報収集を行い、施設空間を活用して情報提供、発信、啓発に努めました。</p> <p>また、新たに施設のFacebookページを開設し、利用者や研修講座の参加者に日常的に情報発信ができるよう取り組んだほか、ネット環境が整っていない方にも地域の青少年育成活動の情報が届くよう「青少年★通信」を創刊・発行するなど、様々な媒体を使って青少年関連の情報が発信できるように工夫しています。</p> <p>今後は、オンラインを活用した情報発信にも力を入れていきたいと考えています。</p>
	お 調査・  専門委員会による事業の検証	<p>新型コロナウイルスの影響で未開催に終わったが、委員候補者から、研修内容や施設の多様な使い方などの意見を聞くことができました。外部の視点から得た利用者ニーズや今後求められる取り組みについて意見を次年度の事業計画に反映しています。</p> <p>市民ニーズに応じた柔軟な施設運営を行うためにも、外部からの意見を運営に反映する仕組みは大変重要だと考え、次年度も継続して取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度が変わると再び初歩的内容からスタートする組み立てになっている。前年度参加者や経験者・実践者が学びを積み上げるような研修を持つことも必要だと思う。</li> <li>・窓口への相談や研修講座の受講だけでは、運営者や支援者が抱えている課題などは解決できないと思うので、「大交流会」のように情報交換や情報共有を通して、一緒に課題を解決していく仲間と繋がる機会を作ることは大切である。</li> <li>・施設として多様なスペースを持っているので、空いているスペースを活用して、育成センターの近隣地域で子ども食堂を展開している団体のフードバンクの中継拠点といった役割を果たせる。新しいつながりが生まれると思う。</li> </ul> <p>などの意見をいただくことができました。次年度の事業展開に生かしていきたいと思えます。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">B 青少年を支える人材を育成する事業</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">い 講座・セミナー・育成</p>	<p>青少年に関わる人材育成のための研修・講座</p>	<p>「子ども青少年の理解につながる研修講座」は、日々変化する、子ども・青少年の課題を理解することを目的に青少年育成に関わる方々の基礎研修として位置づけ、実施しました。ニーズが高く毎年実施している「発達障が理解研修」は多角的な視点が持てるよう今年度は特別支援学校の教諭を招き現場対応のスキルと教育の視点、学校から見える課題を参加者に届けることができました。「LGBT理解」など新しいニーズに対応した研修も新規に実施しました。</p> <p>「困難を抱える青少年に寄り添う人材育成コース（連続講座）」は、認定制度へのトライとして、全6回参加した方には「終了証」の発行を企画し、参加者の参加意欲や活動意欲の向上を図りました。新型コロナウイルスの影響で2回目以降は中止となりましたが、今回の内容のような「多文化」「医療」「法律」といった今後より必要とされる内容は継続して、次年度の企画に取り組んでいきます。また、新しいテーマの研修を企画したことで、新しい講師との繋がりも生まれ、相談業務でも協力を得られるようになりました。</p>
		<p>青少年団体等を支援するための研修・講座</p>	<p>「活動に役立つマネジメント研修」は、昨年度ニーズが高かったSNS広報講座に加えて、活動資金獲得のための「クラウドファンディング」という流行りのテーマも併せて企画しました。また、「提供プログラムが充実する研修講座」においては、アウトドアのフィールドを活用した研修を企画するなど、提供できる研修の幅を広げることにチャレンジしました。</p> <p>「青少年が地域に繋がる場づくり講座」では、実践者や研究者が集まり、子ども若者の居場所を“どうつくるか”“どうあるべきか”を参加者同士の対話を通して、学び合う機会を提供しました。実践者、研究者がこれまで実践や経験値を基に、さらに考えや知識を深めていくような学びの場は育成センターが担う人材育成の一つの柱になると考え、引き続き取り組みます。</p>
		<p>行政機関や青少年支援団体等と連携した人材育成</p>	<p>青少年に関わるより多くの市民に育成センターを知っていただき、各々のニーズに合った多様な学びの場を提供していくために、他団体との連携による人材育成研修の充実を図っています。</p> <p>「よこはまチャイルドライン」との連携事業をきっかけに新たに「神奈川こども支援センター“つなぐ”」と繋がったほか、連携先の横浜市母子寡婦福祉会から高校生のシングルマザーの生活相談にアドバイスをいただくなど、育成センターとしての機能を高めることにも繋がっています。</p> <p>今後も育成センターが拠点となり、青少年に関わる様々な個人団体が繋がる場となるよう努めていきます。</p>
		<p>青少年団体等のネットワーク形成事業</p>	<p>新設した交流スペース（ユースライブラリー）の活性化も兼ねて、ユースゼミは、「読書」という共通テーマで開催しました。題材としてコミックを取り上げ若年層の参加も促しました。定期的に継続して集まることで顔見知りになり、ゼミ以外にも集まって交流する姿が見られました。</p> <p>2月に日本都市青年会議と連携して実施した「青少年の居場所づくり全国フォーラム」は、昨年以上の参加者が集まり、全国各地の現状や新たな取り組みなどを共有することができました。今回は育成センターと周辺地域との繋がりを活かしてフィールドワークも企画しました。地域で地道に活動する団体や地域活動を全国の参加者に紹介することができました。</p> <p>「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」は、新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、大半の応募者から延期を希望する声がありニーズの高さが伺えました。研修・講座のような教わる形式だけでなく、出会い学び合う機会も大切にしていきます。</p>

## 2019年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	45,861,000		45,861,000	45,861,000	0	横浜市より
利用料金収入	2,392,000		2,392,000	1,776,088	615,912	施設利用料金収入
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	1,280,000		1,280,000	635,587	644,413	講座・研修参加費ほか
自主事業収入	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 ( )	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>49,533,000</b>	<b>0</b>	<b>49,533,000</b>	<b>48,272,675</b>	<b>1,260,325</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>26,168,000</b>	<b>0</b>	<b>26,168,000</b>	<b>14,628,872</b>	<b>11,539,128</b>	(施設連携事業費)
給与・賃金	21,744,000		21,744,000	12,157,499	9,586,501	
社会保険料	2,930,000		2,930,000	2,010,432	919,568	
通勤手当	520,000		520,000	424,784	95,216	
健康診断費	72,000		72,000	18,157	53,843	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	18,000	17,000	
退職給付引当金繰入額	867,000		867,000	0	867,000	
<b>事務費</b>	<b>955,000</b>	<b>0</b>	<b>955,000</b>	<b>613,535</b>	<b>341,465</b>	(施設連携事業費含む)
旅費	120,000		120,000	24,240	95,760	職員出張旅費
消耗品費	100,000		100,000	86,070	13,930	事務物品(コピー用紙、文具、プリンタートナーなど)
会議随費			0		0	
印刷製本費	150,000		150,000	0	150,000	
通信費	250,000		250,000	197,957	52,043	NTT光回線、プロバイダー
使用料及び賃借料	30,000	0	30,000	4,500	25,500	
横浜市への支払分	30,000		30,000	0	30,000	
その他	0		0	4,500	4,500	物品運搬に係る駐車場代
備品購入費	200,000		200,000	199,800	200	AED購入、交流スペース用パソコン購入ほか
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	5,500	4,500	施設賠償保険
職員等研修費	60,000		60,000	13,110	46,890	職員研修参加費
振込手数料	35,000		35,000	26,758	8,242	給与等の支払いに伴う振込手数料
リース料	0		0		0	貸出事業にかかる経費として事業費に計上
手数料			0	50,600	50,600	バイト募集掲載料
地域協力費	0		0	5,000	5,000	関内まつり協賛金
<b>事業費</b>	<b>8,010,000</b>	<b>0</b>	<b>8,010,000</b>	<b>6,632,411</b>	<b>1,377,589</b>	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	8,010,000		8,010,000	6,632,411	1,377,589	相談事業、教室(講座)事業、貸室事業にかかる経費 (事業スタッフ賃金、印刷機リース、諸謝金、広報通信費ほか)
自主事業費	0		0		0	
<b>管理費</b>	<b>12,150,000</b>	<b>0</b>	<b>12,150,000</b>	<b>11,298,889</b>	<b>851,111</b>	
光熱水費	0	0	0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
電気料金	0		0		0	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費			0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
修繕費	100,000		100,000	63,830	36,170	第一研修室壁修理、電話回線修理
機械整備費			0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
設備保全費	12,050,000	0	12,050,000	11,235,059	814,941	施設負担金(関内ホール)
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	12,050,000		12,050,000	11,235,059	814,941	施設負担金(光熱水費含む)、廃棄物処理費
共益費	0		0		0	
<b>公租公課</b>	<b>2,100,000</b>	<b>0</b>	<b>2,100,000</b>	<b>2,830,335</b>	<b>730,335</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,100,000		2,100,000	2,830,335	730,335	消費税、印紙税ほか
印紙税	0		0		0	
その他 ( )	0		0		0	
<b>事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>150,000</b>	<b>0</b>	<b>150,000</b>	<b>89,342</b>	<b>60,658</b>	
本部分	0		0		0	
当該施設分	150,000		150,000	89,342	60,658	会計システム保守、動産保険負担金、税理士・社労士顧問料
二一ズ対応費	0		0		0	事業費内で調整
<b>支出合計</b>	<b>49,533,000</b>	<b>0</b>	<b>49,533,000</b>	<b>36,093,384</b>	<b>13,439,616</b>	
差引	0	0	0	12,179,291	12,179,291	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支	0			0		
管理許可・目的外使用許可収入	30,000			0		
管理許可・目的外使用許可支出	30,000			0		
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

## 育成センター職員研修等への参加一覧

### (1) 外部研修

	実施日	内 容	場 所	参加者
1	4月9日	神奈川ゆめ奨学生選考委員	ゆめコープかながわ	富岡
2	5月17日	リードアップセミナー コミュニケーション編	県立青少年センター	石村
3	5月30日	リードアップセミナー 宿泊体験学習	足柄ふれあい野村	石村
4	6月7日	リードアップセミナー 施設見学	川崎子どもゆめパーク	石村
5	6月20日	シックハウス対策研修	横浜市社会福祉センター	本田
6	7月13日	シンポジウム「多文化共生の学校づくり」	横浜国際協力センター	富岡
7	7月17日	自己尊重トレーニング	善了寺本堂	石村
8	8月3日	居場所カフェシンポジウム	日本大学	富岡
9	8月18日	ネイチャーバラエティー	観音崎自然博物館	本田
10	8月31日	よこはまチャイルドライン特別講演会 「弱さを抱きしめて」	横浜市社会福祉センター	富岡、石村
11	9月14日	日本都市青年会議50周年記念全国大会 「地域活動を考える」	オリンピックセンター	富岡
12	9月29日	子どもみらいセンター 子どもの貧困	ワークピア横浜	石村
13	11月18日	子ども・若者エンパワメントセミナー	ワークピア横浜	富岡
14	1月13日	かながわサークユアエコミーフォーラム	富士通エフサス	富岡
15	1月17日	公益法人決算実務研修	自動車会館	富岡
16	2月21日	フォローアップセミナー チラシデザイン研修	県立青少年センター	石村
17	2月24日	神奈川ゆめ社会福祉財団講演会 「子どもたちの未来のために」	ビジョンセンター横浜	富岡

### (2) 法人内部研修

	実施日	内 容	場 所	参加者
1	2月5日	人権研修(ホームレスと子ども)	育成センター	職員全員
2	3月27日	AED講習会	育成センター	職員全員